

# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)横須賀バイオマスエナジー	階数	地上1F
建設地	神奈川県横須賀市浦郷町5丁目29	構造	S造
用途地域	工業専用地域、防火指定なし	平均居住人員	13人
地域区分	6地域	年間使用時間	7,992時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2017年6月1日
敷地面積	9,821㎡	作成者	㈱小川建築事務所
建築面積	3,164㎡	確認日	2017年6月1日
延床面積	3,164㎡	確認者	㈱小川建築事務所

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
①参照値 ②建築物の取組み ③上記②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5  
Q1 室内環境: 3  
Q3 室外環境(敷地内): 3  
LR1 エネルギー: 3  
LR2 資源・マテリアル: 3  
LR3 敷地外環境: 3

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 2.5**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア=2.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア=2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア=2.1

**LR のスコア = 3.1**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア=3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア=3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア=3.3

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 工業専用地域内に木質チップを燃料とするバイオマス発電施設を計画した。発電量は約6,950KWを予定し、これは一般家庭約15,000世帯の年間消費電力に相当する。地球環境はもとより周辺環境にもやさしい再生可能エネルギーでの発電事業に配慮した。		<b>その他</b> 環境アセス(ミニアセス)・神奈川県生活環境条例等、事業開設に必要な届出・手続きを履行している。
<b>Q1 室内環境</b> 燃料となる木質チップの保管～投入を行う工場エリアとこれに付属する関連諸室(生産エリアという)以外の休憩室は「Q1 室内環境」の要求事項を出来る限り高い評価となるよう配慮した。	<b>Q2 サービス性能</b> 工場エリアは作業性・安全性・機能性に十分に配慮した。休憩室・便所は設備の信頼性・更新性に十分に配慮をした。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 工業専用地域内の木質チップを燃料とする発電施設の計画であるが、隣棟間隔を充分にとり風通しが良くなるように配慮し、敷地内への最大限の緑化に配慮した。
<b>LR1 エネルギー</b> 外壁をALCパネルとし、屋根は折板屋根ではあるが遮熱塗装を施すことで断熱性能戸遮熱性能を高めるよう配慮した。24時間稼働の工場エリアは全てLED照明を採用した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> リサイクル材である再生砕石材を積極的に用いるよう配慮した。衛生器具等は節水型を積極的に採用し節水に配慮する。	<b>LR3 敷地外環境</b> 敷地周辺に迷惑がかららないよう、従業員の車輛はすべて敷地内で確保し、木質チップ等の搬入車輛も路外駐車することなく敷地内で搬入・退車出来るよう配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される